大学改革支援・学位授与機構令和4年度大学等の質保証人材育成セミナー
「高等教育と生涯学習を横断する質保証—リスキリング・アップスキリングとその評価：
ヨーロッパにおける生涯学習のトレンド」(2023年1月30日)

EUにおける生涯学習政策

Lifelong Learning Policy
in the European Union

CONTENTS

(1)EUにおける生涯学習政策の変遷

(2)スウェーデンとアイルランドの概況

- 聖心女子大学現代教養学部教育学科
- 澤野由紀子
- Yukiko Sawano
- Professor
- University of the Sacred Heart, Tokyo

2012年
ノーベル平和賞受賞

PART I.　EUにおける生涯学習政策の展開

生涯学習概念の普及

- 1993年「マーストリヒト条約」：教育分野(126条）と職業訓練分野(127条）における欧州委員会の権限規定
- **1996年　欧州生涯学習年**
- 1997年　「知のヨーロッパへむけて」
- 1999年「アムステルダム条約」前文で生涯にわたる学びの推進に言及。教育分野(149条）職業訓練分野(150条)

生涯学習の具現化

- 2000年3月　リスボン欧州理事会議長国諸決定「リスボン戦略」EUの国際的競争力向上、持続可能性、社会的結束
- 2000年10月　欧州委員会「生涯学習のメモランダム」
- 2001年11月　欧州委員会通達「欧州生涯学習圏：知識基盤型社会・経済において欧州の人々をエンパワーする」
- 2002年6月　欧州閣僚会議決議「生涯学習について」
- 2004年4月　欧州委員会・欧州閣僚会議「Education & Training 2010」（目標とベンチマーク）採択
- 2007-2013　「生涯学習プログラム」(予算総額69億7000EURO)　　2008年　世界金融危機

雇用政策重視 SDGs対応

- 2009年5月　欧州理事会決定「教育・訓練欧州協力の戦略的枠組み(ET2020)」
- 2010年7月　「仕事と成長のための欧州2020戦略」「欧州2020統合ガイドライン」
- 2016年6月　「欧州スキルズ・アジェンダ」→ 2021年改訂、2025年までの目標　　2015年　欧州難民危機
- 2017年11月「欧州社会権の柱」　筆頭に生涯学習の権利保証
- 2020年9月　「2025年までに欧州教育圏を構築する」　　2020年　BREXIT, COVID-19
- 2021年7月　「欧州スキルズ・アジェンダ」12のアクション

2022年2月-ウクライナ戦争

2023年　欧州スキル年

21世紀「知識社会」への対応

- 1996年　「ヨーロッパ生涯学習年」

- 1997年　「知のヨーロッパへ向けて」
→ダイナミックなヨーロッパの教育領域の構築

- 1999年5月　「アムステルダム条約」
　「人々のために教育への広いアクセスと教育を恒常的に更新することを通じて<u>最高水準の知識を促進</u>する」

The Lisbon strategy(2000-2010)

- By 2010 ‘Europe should become

  the most competitive and dynamic knowledge based economy in the world, capable of sustainable economic growth, with more and better jobs and greater social cohesion.’

→欧州の国際的競争力向上のための生涯学習政策の展開へ

知のヨーロッパ・エリアの構築

- 「ヨーロッパ高等教育エリア」（1999年6月　ボローニャ宣言）
- 「ヨーロッパリサーチエリア」（2000年-）
- 「ヨーロッパ生涯学習エリア」（2001年11月　）

職業教育・訓練の分野における統一空間構築：

職業的コンピテンスと資格の認定のための共通枠組策定

（2002年11月　コペンハーゲン宣言）

Council of Europe
EEA諸国
欧州高等教育圏(EHEA)
カザフスタン
ボローニャプロセス(Bologna Process)
ＥＵ
欧州生涯学習圏構想(2001-)
欧州リサーチ圏(ERA)
職業教育・訓練(VET)における欧州統一空間構築
トルコ
コペンハーゲンプロセス(Copenhagen Process)

2010年までに達成

＜トリノプロセス＞2010-
各国のVET政策分析

2020年までの新たな目標：人々の<u>モビリティの促進</u>

雇用政策重視の生涯学習推進へ (2010～)

Integrated Guidelines for Growth and Jobs (2010)

- ‘Europe 2020’ strategy for smart, sustainable and inclusive growth:

  Youth on the Move　若年失業者対策

- An Agenda for new skills and jobs: A European contribution towards full employment (2010) :
  Flexicurityの原則→より柔軟な学習の道筋を

「欧州社会権」の柱の筆頭に掲げられた生涯学習

- European Pillar of Social Rights：2017年11月17日にスウェーデン、ヨーテボリで開催された「公正な職業と成長のための社会サミット」で採択された。

- 20本の柱のうち最初の１本が「教育、訓練、生涯学習」：

　「十分に社会に参画し、労働市場において成功裏に変革するためのスキルを獲得・維持するために、全ての人は質の高い包摂的な教育・訓練・生涯学習を受ける権利を要する。」

→COVID-19パンデミックからの欧州のリカバリーとロシアのウクライナ侵攻に伴う影響に対応するために、重要性が益々高まっている

20 principles covering 3 areas

＜2030年までの３つの目標＞

↓

成人の60%以上が毎年職業訓練に参加する。

（出典）
https://www.consilium.europa.eu/en/infographics/social-europe/

2025年を目標年とする「欧州スキルズ・アジェンダ(European Skills Agenda)」（2016年→2020年改訂）12 Actions（2021年7月）

1. スキル協定
2. スキル情報の強化
3. 国別の戦略的アップスキリング・アクションをEUが支援
4. 持続可能な競争力、社会的公正とレジリエンスのための職業教育・訓練(VET)
5. 欧州の大学のイニシアチブを広げ、科学者のアップスキリングを行う
6. グリーン＆デジタル・トランスフォーメーションを促進するスキル
7. STEM卒業生を増やし、起業と分野横断的スキルを養う
8. 生活のためのスキル (Skills for Life):メディア・リテラシー、市民力、ファイナンシャル・リテラシー、環境リテラシー、健康リテラシーなど、全ての成人への学びを支援
9. 個別学習口座（Individual Learning Account)のイニシアティブ
10. マイクロクレデンシャルズの欧州的アプローチ(European Approach to Microcredentials)
11. ユーロパスの新たなプラットフォーム(2020年7月から導入する)
12. 加盟国と個人のスキルへの投資を解禁することを可能とするフレームワークを改善する

生涯学習の機会拡大と役割強化を促進するともにDXとGXにも貢献することが期待される**「マイクロ・クレデンシャルズ」**

マイクロ・クレデンシャルズとは？

- 小規模の学びを通して学習者が習得した学習成果の記録
- 透明性が高く明確な規準によって評価
- 学習者の社会的・個人的・文化的・労働市場的ニーズに応じた特定の知識、スキル、コンピテンスを提供するようにデザインされる学びを対象とする
- 独立のものである場合もあれば、組み合わせてより大きなクレデンシャルズにできる場合もある。
- 特定分野もしくは活動分野で合意されたスタンダードに従って質保証が行われる。

→フォーマル、ノンフォーマル、インフォーマルな学びの全てで取得可能とする、スタック可能でポータブルな履修証明

教育・職業訓練分野の欧州教育による2020年までの到達点

（出典）https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:52020DC0625&from=EN

COVID-19からの欧州の復興を目指して

2025年までに「欧州教育圏」を構築する

- Achieving the European Education Area by 2025

(2020年9月30日付け欧州議会コミッション、評議会、欧州経済・社会委員会並びに地域委員会通達COM(2020)625最終版)

・・・教育は個人の充足感、就労可能性とアクティブで責任ある市民性の基盤である。質の高い包摂的教育、職業訓練と生涯学習の権利は、欧州社会権の第一原則に掲げられている。EUは、持続可能性を基盤とし、変革の推進力としてのグリーン＆デジタルトランジションとともに成長戦略を見直している。教育は欧州的生活様式の中枢にあり、自由、多様性、人権と社会的正義を強化するものである。

EEAはEU加盟各国が、より回復力があり包摂的な国の教育・訓練制度を構築するために協力できるようにする。

EEAの６つの次元

（出典）https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/PDF/?uri=CELEX:52020DC0625&from=EN

EEAとGreen & digital transitions

包摂的なグリーン＆デジタル・トランジションに向けた教育・訓練政策と投資は、ヨーロッパの未来のレジリエンスと豊かさの鍵とみなされている。

＊行動を変化させ、グリーン経済のためのスキルを向上させ、新しい教育・訓練のインフラを培い、既存の構造物を改築し（「リノベーション・ウェーブ」）、それによってこの変化を主導する環境を創出することを目指す方向にアクションを向ける。

＊グリーン・トランジションは、気候中立性と資源に効率の良い経済を目指して働くことのできる専門家を増やすための教育・訓練により多くの投資をすることを必要とする。

＊自然科学・人文科学を横断する環境の持続可能性の視点を統合することと、スキル、方法、プロセスと文化のシフトを支援することを通じて、持続可能な変革を効果的に支援する。

＊全ての段階の教育・訓練は、人々にデジタル・スキルを習得させるだけでなく、テクノロジーの変化によって変わる労働市場の中で進むべき道を見い出すために必要な起業家精神、学び方を学ぶことなど他のコンピテンスも習得させるべきである。

（出典）European Comission, COM(2020)625, *Achieving the European Education Area by 2025*

EEAとHigher Education

- Ai、サイバーセキュリティー、ハイパフォーマンスコンピューティングのような最先端科学などの汎欧州的才能をプールできるように、カリキュラムやコースを共同で開発するなど、国境を超えた学習者の移動をしやすくする高等教育機関間の協力体制を整備する。
- 高等教育機関の施設・整備、コース、専門性、データなどの水準を高めるためのシームレスな超国家的協力を可能とする政策枠組みを構築する。
- 教育・研究・労働市場に才能を循環させるとともに、ポスト・コロナの欧州の回復と持続的発展のために高等教育機関が「知識の広場」、教育、研究、イノベーションならびに社会サービスの中心的役割を果たす。
- 学びの継続のために外国で取得した資格と留学期間を自動的に認定、超国家的活動の共同による質保証、マイクロ・クレデンシャルに導く短期コースの認定とポータブル化。これによりEU加盟国がボローニャ・プロセスよりも迅速かつ深い協力をすることが可能となる。
- 人材不足がきわめて深刻なAi、サイバーセキュリティー、ハイパフォーマンスコンピューティングなどの最先端テクノロジーの上級デジタル・スキルに関する専門的教育プログラムをより一層重視する。

（出典）European Comission, COM(2020)625, *Achieving the European Education Area by 2025*

デジタル教育アクションプラン2021-2027：

2018-2020の第一次デジタル教育アクションプランを引き継ぐ

<2030 Digital Compass>

2000万人のジェンダー混合のICT専門家養成。
人口の80%以上が基礎的デジタル・スキルを習得

Skills
ICT Specialists: 20 million + gender convergence
Basic Digital Skills: min 80% of population

Secure and sustainable digital infrastructures
Connectivity: Gigabit for everyone, 5G everywhere
Cutting edge Semiconductors: double EU share in global production
Data - Edge & Cloud: 10,000 climate-neutral highly secure edge nodes
Computing: first computer with quantum acceleration

Digital transformation of businesses
Tech up-take: 75% of EU companies using Cloud/AI/Big Data
Innovators: grow scale-ups & finance to double EU Unicorns
Late adopters: more than 90% of SMEs reach at least a basic level of digital intensity

Digitalisation of public services
Key Public Services: 100% online
e-Health: 100% of citizens having access to medical records
Digital Identity: 80% of citizens using digital ID

Digital citizenship: rights and principles for Europeans

On 26 January 2022, the Commission proposed an inter-institutional solemn declaration on digital rights and principles for the digital decade.

People at the centre

Digital technologies should **protect people's rights, support democracy, and ensure that all digital players act responsibly and safely.** The EU promotes these values across the world.

Freedom of choice

People should benefit from a **fair online environment, be safe from illegal and harmful content,** and be empowered when they interact with new and evolving technologies like artificial intelligence.

Safety and security

The digital environment should be **safe and secure.** All users, from childhood to old age, should be empowered and protected.

Solidarity and inclusion

Technology should **unite, not divide, people.** Everyone should have access to the internet, to digital skills, to digital public services and to fair working conditions.

Participation

Citizens should be able to **engage in the democratic process** at all levels and have **control over their own data.**

Sustainability

Digital devices should support sustainability and the **green transition.** People need to know about the environmental impact and energy consumption of their devices.

欧州グリーンディール（the European Green Deal: EGD）2019年12月～

- 2030年までに温室効果ガスの排出を1990年と比べて55％以上削減する
- 第３次産業革命を主導する

  2030年までに建設部門に１６万のグリーンジョブを創出

https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:52019DC0640&from=ET

インターネットを一度も使ったことがない人の割合(16-74歳,2021年）(%)

（出典）https://digital-agenda-data.eu/

Leave No One Behind Index

LNOB Index Rank	Country	LNOB Index Score			
1	Norway	86.9	18	Estonia	72.9
2	Finland	85.4	19	Croatia	72.7
3	Iceland	84.7	20	Slovak Republic	72.6
4	Denmark	84.3	21	Portugal	71.7
5	Sweden	84.1	22	Malta	71.5
6	Netherlands	82.2	23	Italy	69.8
7	Belgium	80.9	24	United Kingdom	69.8
8	Austria	80.2	25	Latvia	68.2
9	Ireland	78.4	26	Lithuania	66.6
10	Slovenia	78.2	27	Hungary	64.9
11	Switzerland	78.0	28	Cyprus	64.9
12	Germany	77.7	29	Greece	64.0
13	France	77.4	30	Serbia	63.4
14	Luxembourg	77.1	31	Romania	57.9
15	Czech Republic	73.7	32	North Macedonia	55.0
16	Spain	73.3	33	Bulgaria	53.9
17	Poland	73.0	34	Turkey	45.6

European Union	
Northern Europe	
EFTA Countries	83.
Western Europe	78.4
Baltic States	68.9
Southern Europe	70.8
Central and Eastern Europe	68.2
Candidate Countries	46.7
Albania	NA
Bosnia and Herzegovina	NA
Liechtenstein	NA
Montenegro	NA

Source: Authors

（出典：Sustainable Development Solutions Network and Institute for European Environmental Policy (2021) *EUROPE SUSTAINABLE DEVELOPMENT REPORT 2021: Transforming the European Union to Achieve the Sustainable Development Goals,* p.11）

PART II.　スウェーデンとアイルランドの概況

	Population 人口（人,2021）	GDP per capita 一人当たり GDP (US $,2021)	Unemployment rate 失業率 (2022)	Lifelong Learning Policy 生涯学習政策の特色*
Ireland	5,033,000	100,172.10	4.4	アングロサクソン型:　新自由主義的、競争的 ・義務教育後の教育課程が多様 ・スキル形成においてホワイトカラーとブルーカラーが二極化
Sweden	10,420,000	61,028.70	7.7	北欧型：社会民主主義的、平等と効率を重視 ・義務教育後の教育・訓練に多くの公的資金が投入されている。 ・国の助成を受けて行われる成人学習(成人基礎教育、民衆教育など）が普及している。1960年代末に「リカレント教育」導入。
（参考） Japan	125,700,000	39,312.70	2.6	

（データ出典）World Bank

＊参照文献　Andy Green, Models of Lifelong Learning and the ‘Knowledge Society’: Education for Competitiveness and Social Cohesion, in Edit. J.Kallo & R. Rinne, Supranational Regimes and National Education Policies-Encountering Challenge, Finnish Educational Research Association, Turku, 2006

GDPに占める教育費総額(%, 2019)

Figure C2.1. Total expenditure on educational institutions as a share of GDP (2019)

From all sources, by level of education, in per cent

1. Primary, secondary and post-secondary non-tertiary education includes pre-primary programmes.

Countries are ranked in descending order of total expenditure on tertiary educational institutions as a percentage of GDP.

Source: OECD/UIS/Eurostat (2022), Table C2.1. See *Source* section for more information and Annex 3 for notes (https://www.oecd.org/education/education-at-a-glance/EAG2022_X3-C.pdf).

StatLink https://stat.link/jnrv9k

（出典） OECD(2022) *Education At A Glance 2022*

GDPに占める初等・中等・中等後教育（高等教育を除く）教育費 (%，財源別, 2018)

（出典）　OECD(2021) *Education At A Glance 2021*

GDPに占める高等教育教育費 (%，財源別, 2018)

（出典）　OECD(2021) *Education At A Glance 2021*

スウェーデンの学校体系と国家資格枠組(SeQF)

（出典）文部科学省https://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/detail/1396836.htm

SeQF

（出典）https://www.uhr.se/

スウェーデンの生涯学習のための欧州資格枠組(SeQF)　2015 年版

	知識（経験的・理論的知識）	**技能**（課題に取り組み、問題を解決するための技能）	**コンピテンス**（責任をとり、評価し、自主的に行動し、共同する能力）
レベル1	・特定の仕事もしくは学びの分野における基礎的一般的知識、特定の仕事ないしは学習領域における簡単な指示や記述を理解できる。	・特定の仕事もしくは学びの分野における単純な課題を遂行し、簡単な指示や記述に従うことができる。	・指導の下に、単純な課題を遂行し、他者と協働することができる。
レベル2	・特定の仕事もしくは学びの分野における知識、どのようにして事実を収集し、報告するかについての知識を拡充することができる。	・特定の仕事もしくは学習領域における単純な規則、方法と道具を用いて課題を遂行し、指示と記述に従い、複数の仕事ないし学習領域における事実を検索し、作成することができる。	・いくぶんの自主性を伴いつつ、監督下で簡単な課題についての責任を担い、共同の成果に貢献し、自らの到達点を評価することができる。
レベル3	・特定の仕事もしくは学習の分野における課題を遂行するために必要な知識、情報を収集し、体系化し、報告するための知識を示すことができる。	・基礎的方法、道具、材料と情報を選択し適用することによって課題を遂行し問題を解決するために必要な一連の認知的・実践的技能	・自らの学びと課題の完成、自分と共同の成果を評価し、異なる情報源からの情報を評価することに責任をもつことができる。
レベル4	・特定の仕事もしくは学習の分野におけるより深い知識、モデルや方法についての知識を示すことができる。	・特定の仕事ないしは学びの分野における意義のある概念、理論、モデル、材料、道具ならびに方法を選択し活用し、指示にしたいがい、与えられた時間内に定められた実践的・理論的課題を遂行し、少なくとも一つの外国語で現在の仕事ないしは学習の分野についてコミュニケーションを取ることができる。	・仕事と学びの分野において自主的に着手し、省察し、組織し、遂行し、特定の仕事と学習の分野において自主的に内容を検討し、学びと専門性開発を継続し、自ら情報や価値観を批判的に評価し選択し、自らの、あるいは共同の結論を導き出し、他者との協働に対して責任を担い、他者の仕事をある程度評価することができる。
レベル5	・特定の仕事ないしは学習の分野における専門的知識、当該分野を含む幅広い知識や付随する知識、仕事の過程と、質の基準についての知識を示すことができる。	・特定の仕事ないし学びの分野における専門的仕事を計画し、実施し、そのための情報源をみつけ、問題を解決し、少なくとも一つの外国語で問題解決の方策についてコミュニケーションを取ることができる。	・特定の分野の仕事もしくは学びの分野に取り組み、さらなる学びと専門性開発を継続し、仕事もしくは学習活動の進捗状況を評価し、計画したプロジェクトを遂行することができる。
レベル6	・特定の仕事ないしは学習の分野における先端的知識、その分野の知識の発展のために確立されている方法論についての知見、当該分野のあらゆる領域における深い知識、現行の研究・開発に関する問題に対する立場を示すことができる。	・特定の仕事ないし学びの分野における問題を特定、公式化、分析するとともに、複雑な課題を遂行し、国内的および国際的文脈において、それに対する取り組みと解決策についてコミュニケーションを取ることができる。	・仕事と学びの領域における情報と方法を関連する社会的・倫理的・科学的側面を考慮しながら評価し、専門的知識を仕事と学びの領域に応用し、職場における個人および集団の開発の管理について責任を担うことができる。
レベル7	・特定の仕事ないしは学習の分野における相当に先端的知識、研究・開発の方法に関する深い知識、現行の研究・開発の諸問題に対する深い洞察力を示すことができる。	・研究・開発の業務に参加し、課題を特定。公式化し、先端的で複雑な課題を評価・解決し、国内的および国際的文脈において研究領域の知識基盤ならびに結論についてコミュニケーションを取ることができる。	・特定の仕事もしくは学びの分野における情報、事実ならびに方法の重要な側面を評価し、さらなる知識の必要性を特定し、当該領域の機会と限界を評価し、独立した仕事と学びの分野のための責任を担い、指導し、自らの研究・開発の成果に責任を持つ。
レベル8	・特定の仕事、学びおよび研究の分野における最も先端的で体系的な知識、明確な分野における現代の専門的知識ならびに隣接分野の概要、特定の仕事、学びもしくは研究の分野における一般的および専門的な知識開発の方法を習得していることを示すことができる。	・複雑な現象、問題ならびに状況を分析、総合し、批判的に検討し評価し、研究・開発その他の質の高い課題を計画・実施し、国内的および国際的文脈で研究・開発の成果についてコミュニケーションを取ることができる。	・特定の仕事もしくは学びの分野における研究・開発を評価し、自らの研究、革新もしくは開発の課題を創造・選択し、科学の発展の質の機会と限界について評価し、研究・開発の成果に責任をもち、専門的開発およびビジネス面での開発に責任をもって主導する。

アイルランドの学校体系と国家資格枠組(NFQ)

（出典）文部科学省　https://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/detail/1396836.htm

NFQ

（出典）Quality and Qualifications Ireland，https://www.qqi.ie/

アイルランドの国家資格枠組み(NFQ) 2002年版

	LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	LEVEL 4	LEVEL 5	LEVEL 6	LEVEL 7	LEVEL 8	LEVEL 9	LEVEL 10	
KNOWLEDGE BREADTH	Elementary knowledge	Knowledge that is narrow in range	Knowledge moderately broad in range	Broad range of knowledge	Broad range of knowledge	Specialised knowledge of a broad area	Specialised knowledge across a variety of areas	An understanding of the theory, concepts and methods pertaining to a field (or fields) of learning	A systematic understanding of knowledge, at, or informed by, the forefront of a field of learning	A systematic acquisition and understanding of a substantial body of knowledge which is at the forefront of a field of learning	**KNOWLEDGE** BREADTH
KNOWLEDGE KIND	Demonstrable by recognition or recall	Concrete in reference and basic in comprehension	Mainly concrete in reference and with some comprehension of relationship between knowledge elements	Mainly concrete in reference and with some elements of abstraction or theory	Some theoretical concepts and abstract thinking, with significant depth in some areas	Some theoretical concepts and abstract thinking, with significant underpinning theory	Recognition of limitations of current knowledge and familiarity with sources of new knowledge; integration of concepts across a variety of areas	Detailed knowledge and understanding in one or more specialised areas, some of it at the current boundaries of the field(s)	A critical awareness of current problems and/or new insights, generally informed by the forefront of a field of learning	The creation and interpretation of new knowledge, through original research, or other advanced scholarship, of a quality to satisfy review by peers	**KNOWLEDGE** KIND
KNOW-HOW & SKILL RANGE	Demonstrate basic practical skills and carry out directed activity using basic tools	Demonstrate limited range of basic practical skills, including the use of relevant tools	Demonstrate a limited range or practical and cognitive	Demonstrate a moderate range of practical and cognitive skills and tools	Demonstrate a broad range of specialised skills and tools	Demonstrate comprehensive range of specialised skills and tools	Demonstrate specialised technical, creative or conceptual skills and tools across an area of study	Demonstrate mastery of a complex and specialised area of skills and tools; use and modify advanced skills and tools to conduct closely guided research, professional or advanced technical activity	Demonstrate a range of standard and specialised research or equivalent tools and techniques of enquiry	Demonstrate a significant range of the principal skills, techniques, tools, practices and/or materials which are associated with a field of learning; develop new skills, techniques, tools, practices and/or materials	**KNOW-HOW & SKILL** RANGE
KNOW-HOW & SKILL SELECTIVITY	Perform processes that are repetitive and predictable	Perform a sequence of routine tasks given clear direction	Select from a limited range of varied procedures and apply known solutions to a limited range of predictable problems	Select from a range of procedures and apply known solutions to a variety of predictable problems	Evaluate and use information to plan and develop investigative strategies and to determine solutions to varied unfamiliar problems	Formulate responses to well-defined abstract problems	Exercise appropriate judgement in planning, design, technical and/or supervisory functions related to products, services, operations or processes	Exercise appropriate judgement in a number of complex planning, design, technical and/or management functions related to products, services, operations or processes, including resourcing	Select from complex and advanced skills across a field of learning; develop new skills to a high level, including novel and emerging techniques	Respond to abstract problems that expand and redefine existing procedural knowledge	**KNOW-HOW & SKILL** SELECTIVITY
COMPETENCE CONTEXT	Act in closely defined and highly structured contexts	Act in a limited range of predictable and and structured contexts	Act within a limited range of contexts	Act in familiar and unfamiliar contexts	Act in a range of varied and specific contexts, taking responsibility for the nature and quality of outputs; identify and apply skill and knowledge to a wide variety of contexts	Act in a range of varied and specific contexts involving creative and non-routine activities; transfer and apply theoretical concepts and/or technical or creative skills to a range of contexts	Utilise diagnostic and creative skills in a range of functions in a wide variety of contexts	Use advanced skills to conduct research, or advanced technical or professional activity, accepting accountability for all related decision making; transfer and apply diagnostic and creative skills in a range of contexts	Act in a wide and often unpredictable variety of professional levels and ill defined contexts	Exercise personal responsibility and largely autonomous initiative in complex and unpredictable situations, in professional or equivalent contexts	**COMPETENCE** CONTEXT
COMPETENCE ROLE	Act in a limited range of roles	Act in a range of roles under direction	Act under direction with limited autonomy; function within familiar, homogeneous groups	Act with considerable amount of responsibility and autonomy	Exercise some initiative and independence in carrying out defined activities; join and function within multiple, complex and heterogeneous groups	Exercise substantial personal autonomy and often take responsiblity for the work of others and/or for the allocation of resources; form, and function within, multiple, complex and heterogeneous groups	Accept accountability for determining and achieving personal and/or group outcomes; take significant or supervisory responsibility for the work of others in defined areas of work	Act effectively under guidance in a peer relationship with qualified practitioners; lead multiple, complex and heterogeneous groups	Take significant responsibility for the work of individuals and groups; lead and initiate activity	Communicate results of research and innovation to peers; engage in critical dialogue; lead and originate complex social processes	**COMPETENCE** ROLE
COMPETENCE LEARNING TO LEARN	Learn to sequence learning tasks; learn to access and use a range of learning resources	Learn to learn in a disciplined manner in a well-structured and supervised environment	Learn to learn within a managed environment	Learn to take responsibility for own learning within a supervised environment	Learn to take responsibility for own learning within a managed environment	Learn to evaluate own learning and identify needs within a structured learning environment; assist others in identifying learning needs	Take initiative to identify and address learning needs and interact effectively in a learning group	Learn to act in variable and unfamiliar learning contexts; learn to manage learning tasks independently, professionally and ethically	Learn to self-evaluate and take responsibility for continuing academic/professional development	Learn to critique the broader implications of applying knowledge to particular contexts	**COMPETENCE** LEARNING TO LEARN
COMPETENCE INSIGHT	Begin to demonstrate awarenesss of independent role for self	Demonstrate awareness of independent role for self	Assume limited responsibility for consistency of self-understanding and behaviour	Assume partial responsibility for consistency of self-understanding and behaviour	Assume full responsibility for consistency of self-understanding and behaviour	Express an internalised, personal world view, reflecting engagement with others	Express an internalised, personal world view, manifesting solidarity with others	Express a comprehensive, internalised, personal world view manifesting solidarity with others	Scrutinise and reflect on social norms and relationships and act to change them	Scrutinise and reflect on social norms and relationships and lead action to change them	**COMPETENCE** INSIGHT

This 10-Level Grid of Level Indicators forms part of the determination of the national framework of qualifications under section 7(a) of the Qualifications (Education and Training) Act, 1999. Note: The outcomes at each level include those of all the lower levels in the same sub-strand.

（出典）https://www.qqi.ie/

Proportion of students over the age of 25 in 2012

25歳以上の入学者の割合の国際比較（2012年）

出典:非大学型高等教育機関
「OECD Stat Extracts（2012）」(日本の数値は「学校基本調査」及び文部科学省調べによる社会人入学生数(短期大学及び専修学校(専門課程))

出典：大学型高等教育機関
「OECD Stat Extracts（2012）」（日本の数値は「学校基本調査」と文部科学省調べによる社会人入学生数（4年制大学））

高等教育を受ける予定の15歳の生徒の割合(2009と2018)ならびに25-34歳人口のうち高等教育学位取得者の割合(2019)

Percentage of 15-year-old students who expect to attain tertiary education (2009 and 2018) and percentage of 25-34 year-olds with a tertiary degree (2019)

(出典：OECD (2020) *Education At A Glance 2020*)